

2137 池 洋一	トマト	桃太郎・ルネッサンス・ごほうび
-----------	-----	-----------------

施肥 有機質・土壌改良剤・化学肥料など（購入の場合はメーカー名記入）

<土づくりの使用資材・肥料について>

使用量はkg/10a

商品名	原料	メーカー(購入先)	全N%	化成N%	全P%	化成P%	全K%	化成K%	有機率(%)	使用目的	計画				実績			
											使用量	使用時期	回数	化成窒素kg	使用量	使用時期	回数	化成窒素kg
ドリップファーム1号	硝酸肥料	タキイ種苗	10		20		20		0	生育初期	150	7~8月 毎日	60	15.0	150	7~8月 毎日	60	15.0
ドリップファーム2号	硝酸肥料	タキイ種苗	13		8		25		0	生育中後期	600	9~6月 毎日	300	78.0	90	10/15	45	12.0
フィッシュリューブル	魚	自家醗酵液							100	食味	20kg	9~6月 毎日	300					
ニガリ	海水								100	ミネラル	20L	7~6月 月2	24					
黒糖	サトウキビ	自家醗酵液							100	ミネラル	5kg	9~6月 毎日	300					
カルシウム88	貝化石Ca	フロサキシード							100	ミネラル	20L	7~7月 月1	12					
グリーントップ	海水 Mg	馬居化成							100	ミネラル	15kg	8~7月 月2	22					
プロリン	ゼラチン	サンセイ	5		3		2		100	アミノ酸	20L	9~6月 毎日	300					
シイタケパウダー	シイタケ	自家							100	アミノ酸	10g	7~7月 週1	52					
ケルパック	海藻	ロイヤルインダストリー							100	アミノ酸	300cc	7~7月 2ヶ月1	6					
トウゲン	各種総合酵素	酵素の世界社							100	健康保全	3kg	7~7月 週1	52					
米酢	米酢									殺菌	5L	7~7月 週1	52					

【慣行農法との比較】

\*化学肥料

窒素分で比較して 当地比	削減
化学肥料	窒素使用量 (kg/10a)
慣行使用量	
実績使用量	27

\*節減対象農薬

当地比	削減	
節減対象農薬	実績回数	地域の慣行防除
土壌消毒剤		
除草剤		
殺虫剤	10	
殺菌剤	7	
その他薬剤		
合計	17	

病害虫の防除 使用した天然防除資材・自作資材・農薬（成長調整剤、展着剤等を含む）

使用量/10a

分類	商品名	原料/成分名	メーカー(購入先)	使用目的	計画				実績				使用回数上限			
					希釈倍率	使用量	使用時期	回数	カウント	希釈倍率	使用量	使用時期	回数	カウント	商品	成分
殺虫	アルバリン粒剤	ジノテフラン	アグロカネショウ	アブラムシ類・コナジラミ類		1g/株	定植前	1	1		1g/株	8/3	1	1	1	5
殺虫	ベストガード水溶剤	ニテンピラム	住友化学	アブラムシ類・コナジラミ類	1000~2000倍	100~300L	夏	3	3	2000倍	100~300L	8/10	1	1	3	4
殺虫	アブロードエースフロアブル	フェンピロキシメート・アブロフェジシ	日本農薬	ダニ・コナジラミ類	1000~2000倍	100~300L	夏秋春	3	6	1000倍	100~300L	8/10	1	2	3	3,3
殺菌	トリフミン水和剤	トリフルミゾール	日本曹達	葉かび病	3000~5000倍	150~300L	秋春	5	5	3000倍	150~300L	8/10	1	1	5	5
殺虫	コルト顆粒水和剤	ピリフルキナゾン	クマイ化学工業	アブラムシ類・コナジラミ類	4000倍	100~300L	秋春	3	3	4000倍	100~300L	8/20	1	1	3	3
殺虫	アブロードエースフロアブル	フェンピロキシメート・アブロフェジシ	日本農薬	ダニ・コナジラミ類	1000~2000倍	100~300L	夏秋春	3	6	1000倍	100~300L	8/20	1	2	3	3,3
殺菌	トリフミン水和剤	トリフルミゾール	日本曹達	葉かび病	3000~5000倍	150~300L	秋春	5	5	3000倍	150~300L	8/20	1	1	5	5
殺虫	コルト顆粒水和剤	ピリフルキナゾン	クマイ化学工業	アブラムシ類・コナジラミ類	4000倍	100~300L	秋春	3	3	4000倍	100~300L	9/2	1	1	3	3
殺虫	アブロードエースフロアブル	フェンピロキシメート・アブロフェジシ	日本農薬	ダニ・コナジラミ類	1000~2000倍	100~300L	夏秋春	3	6	1000倍	100~300L	9/2	1	2	3	3,3
殺菌	トリフミン水和剤	トリフルミゾール	日本曹達	葉かび病	3000~5000倍	150~300L	秋春	5	5	3000倍	150~300L	9/2	1	1	5	5
殺虫	コロマイト乳剤	ミルベメクチン	三井化学アグロ	コナジラミ類・トマトサビダニ	1500倍	100~300L	秋春	2	0	1500倍	100~300L	9/7	1	0	2	2
殺菌	アフエットフロアブル	ベンチオピラド	三井化学アグロ	うどんこ病・灰色かび病・菌核病・葉かび病	2000倍	100~300L	秋春	3	3	2000倍	100~300L	9/7	1	1	3	3
殺菌	アニキ乳剤	レビメクチン	三井化学アグロ	コナジラミ類・トマトサビダニ	1000~2000倍	100~300L	秋春	3	3	1000倍	100~300L	9/14	1	1	3	3
殺菌	アフエットフロアブル	ベンチオピラド	三井化学アグロ	うどんこ病・灰色かび病・菌核病・葉かび病	2000倍	100~300L	秋春	3	3	2000倍	100~300L	9/14	1	1	3	3
殺菌	カッパーシン水和剤	カスガマイシン・銅	明治製菓	葉かび病・輪紋病・疫病・斑点細菌病・かじり	1000倍	150~300L	秋春	5	0	1000倍	150~300L	9/29	1	0	5	5,-
殺菌	トリフミン水和剤	トリフルミゾール	日本曹達	葉かび病	3000~5000倍	150~300L	秋春	5	5	3000倍	50~300L	10/4	1	1	5	5

備考:

独自の栽培方法であり、一般の栽培には当てはまりません。10aの成分計算は一般とは大きく異なります。肥料に関して：10aの成分計算は一般とは大きく異なります。農薬に関して：病害虫の発生があった場合の登録農薬です。このため、使用しない場合もあります。IPM総合防除方式をとり、殺虫剤を減らしています。防虫網や、ラノータープ、忌避剤を使用し、又、200台の通風機を使用して、外からの虫の侵入を防いでいます。11月~2、3月期はボトキラー（パテルス菌）をダクト内に散布するのみとなります。

実績は 2017/10/12現在。

栽培期間通して、化成肥料の化成窒素量 93kg、  
農薬の計画回数 殺虫 35回、殺菌15回 合計50回

定植開始:	平成29年8月4日
終了:	
収穫開始:	平成29年10月1日
終了:	平成30年6月30日